

尾高煌之助教授 経歴・著編書目録

雑誌名	経済志林
巻	73
号	4
ページ	599-602
発行年	2006-03-03
URL	http://hdl.handle.net/10114/00017315

尾高煌之助教授 経歴・著編書目録

本 籍 地 東京都千代田区

生 年 月 日 1935年12月15日

学 歴

1955年 4 月 慶応義塾大学経済学部卒業

1959年 9 月 カリフォルニア大学（米国バークレイ）大学院
経済学研究科博士課程単位修得

1964年 6 月 経済学修士（カリフォルニア大学 M.A.）

1967年 6 月 経済学博士（カリフォルニア大学 Ph.D.）

職 歴

1959年 9 月 カリフォルニア大学労使関係研究所研究助手（1961年 6 月
まで）

1961年 9 月 カリフォルニア大学経済学部教務助手（1964年 6 月まで）

1964年12月 国際基督教大学非常勤講師（1965年 6 月まで）

1965年 7 月 一橋大学経済研究所助手（1967年 9 月まで）

1967年10月 一橋大学経済研究所専任講師（1970年 2 月まで）

1968年 9 月 慶応義塾大学経済学部兼任講師（1970年 3 月まで）

1970年 3 月 一橋大学経済研究所助教授（1978年 5 月まで）

1972年 6 月 ハーヴァード大学（米国ケンブリッジ）東アジア研究セン
ター所員（1974年 9 月まで）

1973年 9 月 ハーヴァード大学経済学部客員講師（1974年 6 月まで）

1978年 6 月 一橋大学経済研究所教授（1999年 3 月まで）

- 1979年 4 月 福島大学経済学部兼任講師 (1980年 3 月まで)
- 1980年 5 月 フィリピン大学 (ディリマン) 経済学院客員教授 (1981年 6 月まで)
- 1983年 4 月 一橋大学評議員 (1985年 3 月まで)
- 1986年 1 月 カールトン大学 (カナダ国オタワ) パタソン国際関係学院客員教授 (同年 4 月まで)
- 1986年 4 月 慶応義塾大学経済学部兼任講師 (1987年 3 月まで)
- 1986年 4 月 東京大学大学院経済学研究科兼任講師 (1987年 3 月まで)
- 1987年10月 東京大学教養学部教養学科兼任講師 (1992年 3 月まで毎冬学期)
- 1988年 3 月 ボン大学 (西ドイツ) 日本研究学科客員研究員 (同年 5 月まで)
- 1990年 4 月 東京女子大学現代文化学部兼任講師 (1992年 3 月まで)
- 1993年 3 月 東京大学社会科学研究所兼任講師 (1996年 3 月まで)
- 1993年 8 月 ロンドン大学アジア・アフリカ学院客員教授 (1994年 1 月まで)
- 1994年 3 月 一橋大学経済研究所長・同評議員 (1996年 2 月まで)
- 1996年 4 月 中央大学経済学部・同文学部教育学科兼任講師 (1997年 3 月まで)
- 1997年 4 月 ボッコーニ大学 (イタリア国ミラノ) 客員教授 (同年 5 月まで)
- 1999年 4 月 法政大学経済学部教授 (～現在に至る)
- 同 法政大学比較経済研究所員 (2001年 3 月まで)
- 2001年 4 月 一橋大学経済研究所客員教授 (2001年 9 月まで)
- 2002年 4 月 法政大学比較経済研究所長 (～現在に至る)

著書・編書目録

著 書

1. 『労働市場分析—二重構造の日本的展開—』 1984年 9 月, 岩波書店
2. 『職人の世界・工場の世界』 1993年 3 月, リブロポート
3. 『企業内教育の時代』 1993年 3 月, 一橋大学経済研究所和文研究叢書 42, 岩波書店
4. 『新版 職人の世界・工場の世界』 2000年 7 月, NTT 出版

共著書

1. 『賃金変動—数量的接近—』 (南 亮進氏と), 1972年 3 月, 一橋大学経済研究所和文研究叢書25, 岩波書店
2. *The Automobile Industry in Japan, A Study of Ancillary Firm Development* (小野桂之介・足立文彦両氏と), 1988年 3 月, 一橋大学経済研究所 欧文研究叢書26, Tokyo: 紀伊国屋書店 / Oxford: Oxford University Press

編 著

1. 『わが国海外進出企業の労働問題—イラン—』 1978年 3 月, 日本労働協会
2. *The Motor Vehicle Industry in Asia, A Study of Ancillary Firm Development*, 1983年 3 月, Singapore: Singapore University Press
3. 『アジアの熟練, 開発と人材育成』 1989年 3 月, 経済協力シリーズ 143, アジア経済研究所

4. 『近現代アジア数量経済分析』 2004年12月, 法政大学出版局

共編著

1. 『幕末・明治の日本経済』 (山本有造氏と), 1988年4月, 数量経済史論集4, 日本経済新聞社
2. 『二重構造』 (中村隆英氏と), 1989年8月, 日本経済史6, 岩波書店
3. 『日本経済の200年』 (西川俊作・斎藤修両氏と), 1996年1月, 日本評論社
4. *Markets and Government: In Search of Better Coordination* (寺西重郎氏と), 1998年3月, 一橋大学経済研究所欧文研究叢書35, Tokyo: 丸善
5. *Small Firms, Large Concerns, The Development of Small Business in Comparative Perspective* (沢井実氏と), 1999年, Oxford: Oxford University Press
6. 『デジタル化時代の組織革新, 企業・職場の変容を検証する』 (都留康氏と), 2001年8月, 有斐閣
7. *Economic History of Japan 1914-1955, A Dual Structure* (中村隆英氏と), 2003年, Oxford: Oxford University Press
8. *Small and Medium Scale Industry in India and the Model of Japan* (清川雪彦氏と), 2006年, New Delhi: Allied Publishers

以 上